様式第３号

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	有形文化財の保護・保全事業			コード	112101
２ 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課	作成者 高木　昭彦

３ 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち	
		政　策	文化・スポーツの振興	施　策 文化財の保護・活用
	予算科目	有形文化財保護・保全事業	業務委託	一部委託
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		岡谷市文化財保護審議会の開催、収蔵している文化財資料の保存・管理
目的	対象者	市民
	意　図	有形文化財の保護・保全

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

平成２８年５月２６日文化財保護審議会を開催し、１１月１０日伊那市での文化財保護研修会に参加した。
また、東堀区所有の「神の木」の現状変更申請を受け許可したほか、小坂観音院寺叢のさわらの木の枯れ枝取り事業に補助金を交付した。
さらに、広畑遺跡発掘体験（８月７日）や旧山一林組製糸事務所での文化財防火デー（１月２９日）を実施した。

前年度の課題への対応	文化財保護審議会に併せ岡谷十五社と岡屋考古館の視察を行った。 教育委員会分室のあり方については、引き続き移転等検討課題とした。

６ ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		4,500,605	5,196,347	5,846,102	6,130,000
	経常経費	4,500,605	5,196,347	5,846,102	6,130,000
	臨時的経費	0	0	0	0
	＊臨時的経費の説明				
② 人件費		1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
	正規職員の人数（人）	0.20	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト（①＋②）		6,100,605	6,796,347	7,446,102	7,730,000
	前年度比		111.4%	109.6%	103.8%
	財源内訳 一般財源	5,928,225	6,688,207	7,338,702	6,910,000
	財源内訳 特定財源	172,380	108,140	107,400	820,000
	＊特定財源の説明	遺跡発掘調査報告書等売却代			
④ コストに関する補足説明		施設の土地賃借料と公用車両の維持管理が主なもの			

イ）負担金、補助金、交付金の状況

［単位：件、円、%］

負担金補助金		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
長野県文化財保護協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	2,000	2,000	2,000	2,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	2,000	2,000	2,000	2,000
	割合	0.04%	0.04%	0.03%	0.03%

●改善の内容（ACTION）

7　具体的な課題と改善

課題	（事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること） 分室のあり方については、土地借上料の負担が大きく、引き続き移転等検討課題とする。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 分室については、公共施設整備等に関連して適地を検討する。
改善開始時期	平成２９年４月～

●次年度の計画（PLAN）

8　次年度の方針	継続して実施	9　施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	A